

コ〜んなチョコ (17.12.29)

ネーミングが安易で、そのベタさ加減が気に入っただけで、味云々は期待していなかったのに、意外や意外！この食感はおもしろい。コーンをフリーズドライにして、ホワイトチョコをしみこませる"含侵製法"という技術で出来上がったお菓子だそう。

「とうもろこし」と思って口に入れると、さくさくしたお菓子なので、不思議な新食感。

**エチゼンクラゲ くらげポンチ (17.12.24)**

日本海に大・大・発生して、漁猟に多大な被害を与え、今も対策に困っちゃっているエチゼン・クラゲ。そんな"害獣"も、商魂たくましいや、フルーツポンチ風のデザート商品にしちゃったそうです。その名も「エチゼンクラゲ くらげポンチ」。

販売元は「株式会社かね徳」さん。早速、5セット10個取り寄せてみました。ごく普通のフルーツポンチに仕上がっていて、当のエチゼンクラゲ片も、ナタデココ感覚で違和感はありません。

ただ、なかなか噛み切れないことと、"実はこれはエチゼンクラゲ"と知ってしまうと、なんともいえない想いが襲ってきます。ちなみに、クラゲ片自体は透明じゃなく、ほのかにだいたい色です。

(左)これが、くらげポンチっす。パイナップル、みかん、さくらんぼ、そしてエチゼンクラゲが入っていてより取り見取り。そこで…(右)クラゲだけ集めてみました。ね！ほのかに、だいたい色。

**ちんみ寿司 特上 (17.12.23)**

今日はクリスマスイブでもありますので寿司を…といっても、本物の寿司なんておいそれを食べられませんので、今日は、がんばっても"寿司風おつまみ"でガマンガマン…。

おお〜、イクラもあればトロもある！といっても、包みに印刷されているだけですけどね。一応、寿司気分は味わえます。

**奉祝 紀宮清子さま 御成婚 おめでとうございます まんじゅう (17.12.11)**

これぞ東京土産！ってゆうお土産って、何でしょうね。「お台場フジテレビせんべい」や「ドラえもんどらやき」なんかが、喜ばれるんでしょうかね？

この「奉祝 紀宮清子さま 御成婚 おめでとうございます まんじゅう」は東京駅でしか手に入らないとのこと。

がしかし、その名「奉祝 紀宮清子さま 御成婚 おめでとうございます まんじゅう」から判るように、期間限定。

黒田だんなさんはいずこに！と突っ込みたくなるまんじゅうですが、改めまして、ご結婚、喜ばしく存じます。早速開封してみました。なんと、菊のご紋(花びらって11個だっけ?)をあしらひ、真ん中には金粉が添えられております。



卵かけご飯専用醤油 おたまはん (17.11.23)

「感動したっ！」っていえば、すぐに頭に浮かぶのは小泉首相。私にとっての久々の感動はこれ！

種子島ではタマゴぶっかけご飯を「たんぶめし」って言ってましたけど、『卵かけご飯専用醤油 おたまはん』を使って「たんぶめし」を食べてみると、ん〜「感動した！」

「おたまはん」って、これまた見事なネーミング。



ダイエットふりかけ (17.11.22)

「食事は目で食べるもの」ってよく言われますけど、全くその通りですね。かつて私は3週間ほど入院したことがあるんですけど、あの流動食って言うのがほんとまずいまずくて…。見た目からしてダメですね。しかも、「噛む」ってゆうことが大事なあと、そのとき思いましたね。

さて、今巷には「ダイエットふりかけ」つー商品があるんですよ。このふりかけは、バランス研究所つーところから販売（ネット販売のみ）されてるんですけど、前もって言いますが、これ、一箱10袋で4500円、一袋450円もするふりかけなんですよ。高っ！

でですね、このふりかけ、見てくださいよ！味はただの塩味なんですけど、群青色な訳っすよ。あのですねえ〜、白いご飯にかけると……"グロ"い。見るからにマズそ〜。

これね、ダイエット成分があつてそれが効くつーより、食欲を減退させてやせさせる…そんな感じです。

ちなみに、青いご飯のストラップがおまけで付いているんですけど、そんなの要らないから、その分、安くしてちょ〜。

名前も「DIET FURIKAKE」。ん〜、ベタ。特許出願済みだと。ちなみに、パッケージに書いてる、やせる法則をご紹介します。

- ①夕食の炭水化物をまず減らす
- ②ダイエットふりかけをご飯の上にかけて習慣化
- ③過食に対する不快イメージのインストール
- ④1週間で過食抑制
- ⑤ダイエットふりかけを継続する

ってゆうか、①がいちばんむずかしい。みんなこれで挫折する。⑤もあやしい。やっぱ「バランス研究所」ってあやしいっすよ！



ビーンズのお菓子 (17.11.13)

お菓子はお菓子です。ビーンズのお菓子なんです。甘くて美味しいんです。鹿ちゃんと豚ちゃんの人形は、付属の"ビーンズ入れ"なんです。鹿ちゃんと豚ちゃんはとても愛くるしいんです。

でどう使うかと言いますと、ビーンズを頭から入れます。そして、後ろ足をぐっと"ふんばれせる"と、ケツの穴からポロポロとビーンズが出てくる仕掛けです。リアルです。



火サスクッキー (17.11.6)

海岸岸壁に追い詰めてから、真犯人が真実の告白をするというあのベタな展開を見せる日テレ「火サス」こと、「火曜サスペンス劇場」。

新聞記者は船越英一郎、片平なぎさあたりかな？この火曜サスペンス劇場のクッキーが発売されましたよ！クッキーの形が、殺された被害者？現場に引かれているチョーク痕？どっちにしろ、茶目っ気ぶりdすので東京土産に喜ばれるかも…。



1万円のレトルトカレーセット (17.9.30)

1万円のレトルトカレーです。外食で「1万円分のカレー」といえば、そうとう良い物が食えるに違いないのですが、「1万円のレトルトカレー」だということが大事なのです。

中を開けるとこんな感じ。「具」パック+「ルー」パックが2セット、そして専用のお米が1パックという内容。ですから、正確には1セット5000円のレトルトカレーということになります。

たかがレトルトカレー、されどレトルトカレー。解説紙を見ると材料が凄いっす。スパイスだけでも厳選40種類(手配した国名がちゃんと書いてある)。しかも、シリアル番号、サイン入りの証書も入ってる。今後復刻もしないというから、さあ大変。

こうなるとですよ、ビンテージもののワインと同じで、なかなかパックを開けられないっすよね。最高級のカレーは食べたい！でも、食べちゃうと2度と食べられない。だから、開けられない。しょうがないので、問題先送り！冷蔵庫にそっとしまっています。



ラーメンライス (17.9.27)

白いご飯に味噌汁をぶっ掛ける、いわゆる"ネコまんま"は、はしたない！って良く言われますけど、これがまた、おいしいんですよ。一方、独身貴族の必需品「カップラーメン」の残り汁に、ご飯をぶっ掛けるとこれまたおいしいんです。

じゃ、最初から一緒にすればいいんじゃないの？という発想から、茨城県にありますヤマダイ株式会社がラーメンとライスと一緒にした「ラーメンライス」なるカップラーメンを商品化。ん？カップライスといった方がいいのか？



こどもびいる (17.9.25)

子供達にも、あのビールの爽快感を味あわせてやりたいという、佐賀県にあります株式会社友柊(ともます)飲料さんが製造開発した子供用のビールが、間もなく全国で販売されるそうですが、今日現在ではインターネット注文でしか手に入らない・・・ということで、早速取り寄せました。

ラベルの絵柄が"粋"ですね。当然ながらノンアルコール。でもですね、泡もちゃんと出ますし、ほんのりビールの味がするのは気のせいでしょうか？

しゃれっ気があって、贈答品には凄いいかもです。一応、「こどもびいる」を2ダズ、ついでに、復刻版、昔なつかしの味スワンサイダーも1ダズ注文してみました。注文して何ですが、こんなに要りました。



珈琲酎 (17.8.13)

皆さん！ご存知でした？焼酎通の方はとっくにご存知のことかもしれませんが、珈琲大好きって公言している私が、あの「珈琲麵」の存在に一生の不覚と申しましたのもつかの間、今後は「珈琲酎」なるものがあるとは、知らなんだ！返す返すも、口惜し。

焼酎といえば無色透明がスタンダードだと思うのですが、珈琲豆が原料だけに、ちゃんと珈琲色。

アルコールにとんと弱い私ですが、こ、こ、これはいける！確かに珈琲味だ。



ジンギスカンキャラメル (17.3.26)

「ジンギスカンキャラメル」。このキャラメルは、北海道限定のオリジナルのキャラメルだそうで、「これは、絶対に、このサイトで紹介すべきだ!」ということで、来店していただいたお客さんから情報と現物をいただきました。

さて、食に関するご当地ならではのお土産品というのは、いろんなバリエーションがありまして、そのような企画は、村おこし町おこしの常套手段としてさしあたって珍しいことではないのです。

お菓子の「ポッキー」だって、ご当地に合わせたさまざまなバリエーションがあります。お饅頭系にいたっては、名前や風味の差こそあれ、まあまあ、これといって特筆する饅頭ではないことが多いです。

種子島にも「ロケット饅頭」ってゆうのがありますが、ロケットの絵の焼印があるというだけの、ただの饅頭っす(笑)。

キャラメルもそうで、例えば、具体的に名前は明かせませんが、「メロンキャラメル」といえば、メロンの風味がほのかに香るキャラメルですし、「さくらんぼキャラメル」といえば、さくらんぼの酸味がほのかに口に広がるキャラメルです。非常においしいんですけど、でも、ぶっちゃけ「キャラメル」であって、「キャラメル」を超えていないのです。

ところが、この「ジンギスカンキャラメル」。ただものではないっす。いったい何か?という、正真正銘、ホントにホントの本物志向なのです! 読者の皆さんはここで「えっ? 本物志向って? と首をかしげているに違いないです。

とにかく食べてみてくださいとしかいえません。言葉でこのインパクトは伝えられないのです。食感は練り飴ですけど、味はジンギスカン鍋の残り汁の煮凝りのようなもの。

パッケージを開けると、誰が見ても一見普通のキャラメルです。だから、脳みそは「キャラメル」という先入観。口に入れ噛んだ瞬間の食感は、まさしくキャラメルなので、脳みそも油断します。すると、カンダ隙間からジューシーに流れてくるのは、ジンギスカンの鍋汁そのもの。

まさに、キャラメルの食感に、北海道の代名詞ともいえるジンギスカンの鍋汁のコラボレーションが相まって、厳しい北の大自然の壮大さと、こんな商品を開発できる環境とスタッフの努力、この商品販売にゴーサインを出した幹部の心の広さが、口のでわーっと広がり、なんとも……………マズイ。



おでん缶 (17.1.30)

秋葉原のチチブ電気さんの周りに置いてある自販機で「おでん缶」なる、おでんが入った、ホット缶詰が買えるそうです。以前TVで紹介されて今ブームらしいです。

「おでん缶」は、「大根入り 200 円」「牛すじ入り 250 円」「つみれ入り 200 円」の3種類があるよ。では、牛すじ缶の中身を見てみよう。

中身は、「さつま揚げ」「こんにゃく」「ちくわ」「牛すじ肉」「うずら卵」「昆布」。濃い目のダシがきちんと染みている、よく出来ているね。お土産にもいいかもね。

